

平成22年第8回定例会
会期12月10日～12月17日

総合計画基本構想を可決

第8回定例会は12月10日に開会し、町からは一般会計を含む6会計の補正予算等の提案があり、審議の結果、全て原案のとおり可決しました。また、定例会初日の10日には9月定例会より継続審査となっていた「第5期清水町総合計画の基本構想」について、審査を付託されていた総合計画審査特別委員会（伊藤成一委員長）より審査報告がされ、その後の採決では全会一致で原案のとおり可決しました。

9月定例会最終日に「第5期総合計画の基本構想」について、11月1日に総合計画審査特別委員会の審査が行われ、各委員より質疑が出されました。委員からは「計画を実現するため、町民、各種団体、事業所・企業、行政それぞれの責任と役割が示されているが、具体的に町としてどのように働きかけて一緒に進めていくのか」「10年後の想定人口をおおむね9000人としていますが、積極的な計画になっているのではないか」などの疑問点が出されました。町からは「計画をつくる段階から多くの町民に協力をいただきながら、まとめてきた。計画内容を広報紙やインターネット、または様々な会合等で十分に周知したうえで、理解いただき実践してもら

えるように取り組んでいきたい」「想定人口は減少を見込んでいますが、産業・福祉・教育が、様々な分野で、地域の活力を向上させる取り組みを進めることにより、人口減少率を抑えていきたい」など、これからの方向性が示されました。その後の採決では、全会一致で原案どおり可決しました。

プレミアム付き商品券事業等の補正予算を可決

個人消費も伸び悩むなかで、町内商店街での消費が低迷していることから、町民の生活応援及び地元消費を喚起するため、商工会が実施するプレミアム付き商品券事業に対して411万円を補助する等の一般会計補正予算が定例会初日の10日に提案され、議会では全会一致で可決、これにより一般会計の予算総額は70億3560万円となりました。

平成22年度 補正予算

一般会計

(9回目の補正)

6,844万円 増

総額70億 3,560万円

一般会計の主な補正(歳出)

- ◇いきいきふるさとづくり基金積立金 118万円の増額
- ◇自立支援給付費 980万円の増額
- ◇障害者給付費 108万円の増額
- ◇高齢者等短期入所事業委託料 220万円の増額
- ◇国民健康保険特別会計繰出金 4,590万円の増額
- ◇農業経営基盤強化資金利子補給補助金 75万円の増額
- ◇自給飼料増産対策助成金 58万円の増額
- ◇土地改良国営事業償還負担金 150万円の増額
- ◇商工業振興事業補助金(繰越明許) 地域活性化・生活応援商品券事業 411万円の増額
- ◇中学生選手等派遣費 203万円の増額
- ◇スクールバス修繕料 35万円の増額

※そのほか、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計、簡易水道事業特別会計、上水道事業会計の補正予算案を原案のとおり可決。

請願・陳情の審査

件名	提出者	審査委員会	結果
TPPなど国際貿易交渉に関する請願について	清水町 農民連盟	産業厚生 常任委員会	採択
TPP交渉参加反対に関する請願について	十勝清水町 農業協同組合	産業厚生 常任委員会	採択
「清水町内に国際パークゴルフ協会の公認コースの設置を求める要望意見書」の提出に関する陳情について	町民1名	総務文教 常任委員会	不採択

意見書の提出

請願等のあった次の意見書は、第8回定例会において審議の結果、可決され、議会はこれに関係行政庁に提出しました。

- 北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する要望意見書
- TPP交渉に関する要望意見書
- 「B型肝炎問題の早期全面解決を求める」意見書

